

Visual Expand Module

AT-VEM510S

MADE IN JAPAN

ver 1.0x.xx

USERS MANUAL

Expand

純正iDriveシステムがiDrive5.0(新型メニュー画面)となった10.2インチモニター装備車輛。

※8.8インチ装備車輛はAT-VEM508Sが適合です。ご注意ください。

※詳しい適合車種は弊社HPでご確認下さい。

- ⚠ 注意** ● 当製品は純正モニターに外部映像を入力する為の機器です。
車輛純正側の電子ユニットや当製品のようなユニットは高度に制御されていますが、扱う情報量が莫大なる為に超高速でデータ処理しています。その為、稀に外来ノイズなどの影響でエラー等が発生して正常動作が出来なくなる可能性があります。PCやスマートフォンが稀に不具合が起きるのと同様とお考え下さい。詳しくは13ページを参照して下さい。

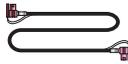
もくじ

- 1 もくじ、商品構成
 - 2 VEMメニュー、AV1、Camera1入力について(1)
 - 3 VEMメニュー、AV1、Camera1入力について(2)
 - 4 VEMメニュー、リヤモニター出力について
 - 5 VEMメニュー、リバースアクション、ガイドラインについて
 - 6 リモート信号、オペレートモード、操作確認音、セーフティ機能について
 - 7 外部映像の表示方法、アルパイン製フロントカメラの操作方法について
 - 8 UPDATEモード、メンテナンスモードについて
 - 9 地デジ(Pioneer)の操作方法
 - 10 地デジ(DataSystem)の操作方法
 - 11 地デジ(Panasonic)の操作方法
 - 12 その他注意事項
 - 13 故障かな?と思ったら(1)
 - 14 故障かな?と思ったら(2)
- 裏表紙 簡易操作マニュアル(デフォルト状態での操作)

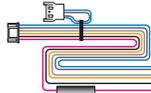
商品構成



AT-DEM510S本体



HSDモニターケーブル



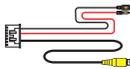
6P、電源/CANハーネス
(バイパスコネクタ付き)



AV入出力ケーブル



5P、サービス
電源出力ハーネス



6P、Camera変換ハーネス



3P、地デジリモコン
コントロールハーネス



UPDATE用USBケーブル



コーションステッカー



保証書



詳細説明書(本書)



取付マニュアル

VEMメニューの操作

基本的設定は取り付けしたインストーラーが行っています。
青文字で記載してある部分は設定を間違えますと希望の動作が出来なくなる可能性があるので注意してください。
iDriveコントローラーのMENUボタンを長押ししますと当製品のVEMメニューが表示されます。
製品のプログラムVerが右下に表示されます。
純正でタッチパネル装備車両はタッチパネル操作でVEMメニューを操作する事も出来ます。
純正画面の左上のホームアイコンを長押しするとVEMメニューが表示されます。
アイコンをタッチするとそのアイコンが選択され、説明が画面上部に表示されます。
もう一度アイコンをタッチしますと決定動作となります。



※当製品は安定性向上や新機能追加などプログラム更新が容易に出来る設計です。詳しくは8ページ参照。



当製品の各入力のON/OFF設定、呼び出しボタン設定、表示OSDアイコン、画質調整などを行います。



リヤモニターを接続した場合などに出力設定を行います。



リバース時などにどのようなアクションをするか設定したり、社外バックカメラのガイドライン設定を行ったりします。



リモート入力、セーフティ機能、操作確認音などの設定を行います。



当製品のプログラムUPDATEを行う場合に入ります。モニター上に手順が簡易表示されます。詳しい手順は弊社HPでご確認ください。



ディーラーなどでメカニックの方が作業する際に入ります。ユーザー様が行う事は有りません。

映像入力設定

各入力のON/OFF設定

※この部分は製品取り付け時にインストーラーが設定していますので、弄らない事をお勧めします。
接続機器が本来の動作を行えない場合があります。

各入力を使用するには設定画面で「使用する」を選び、更に呼び出しボタンをどれにするか設定します。

※「使用する」を選択しても、呼び出しボタンが選択されていなければ呼び出せません。

デフォルト設定では、入力は全て「使用する」で呼び出しボタンは下記のようになっています。



プログラマブルボタン1



iDriveコントローラーMENUボタン2回連打

入力呼び出しボタンの設定

予め呼び出しボタンはデフォルト設定で登録されていますが、ユーザーの好みで変更できます。
AV入力はプログラマブルボタン1～6番で登録可能です。呼び出しボタンは繰り返し押し度に表示サイズが切り替わります。(FULL, MAIN, SUB) 画面サイズは最後に表示していた大きさで次回呼び出し時も引き継がれます。

Camera入力は、iDriveコントローラーMENUボタン2連打の他、ステアリングVOICEボタン2連打、ステアリングJOGッシュ2連打が登録可能です。

表示サイズ切り替えはCamera入力表示中にOPTIONボタンを2連打しますとFULL, MAIN, SUBで変更可能です。
表示中にタッチパッド部1点タッチでも変更可能です。

画面サイズは最後に表示していた大きさで次回呼び出し時も引き継がれます。

※入力を「使用しない」を選んだ時点で登録した呼び出しボタンは破棄されています。再度「使用する」を選んだら呼び出しボタンの設定は必須です。

※1つの入力に対して呼び出しボタンは複数登録も可能です。

※VOICEボタン2連打は純正のVOICE機能をON/OFFする動作の為、動作音がなります。ご了承ください。

※AV入力の呼び出しボタンに車輻AVソースのAUXを登録しておけば、映像と音声ワンタッチで呼び出せるので便利です。

※選択済みのボタンを再度選択決定操作を行う事で取り消し出来ます。(アイコンのハイライト表示がOFF)

映像入力設定

各入力のOSD設定

各入力呼び出しますと、画面左上に1秒間OSDマークが表示されます。この表示するOSDマークの文字を選択します。

- ※OSDが表示されている1秒間は他の操作は受け付けません。消えてから操作してください。
- ※設定で「使用しない」も可能です。
- ※Camera入力が社外バックカメラでリバースアクションで呼び出される際はOSD表示はされません。

IR信号設定

AV1入力は地デジチューナーコントロール対応となっています。取り付けした地デジチューナーメーカーを選択します。車種スイッチで操作出来るようになります。

- ※この部分は製品取り付け時にインストーラーが設定していますので、弄らない事をお勧めします。接続機器が本来の動作を行えない場合があります。

ステアリング部JOGダイヤル、オーディオ部←→ボタンでのチャンネル変更などが可能です。地デジ映像をFULL画面で視聴中はiDriveコントローラーで様々な操作を行う事も可能です。MAIN画面サイズやSUB画面サイズで視聴中はiDriveコントローラーは純正機能を操作します。

- ※当製品のオペレートモードをエキスパートで使用する場合はMAIN/SUB表示の時もiDriveコントローラーで様々な操作が可能となります。6ページ参照

Camera入力専用電源

Camera入力には、専用の電源出力があります。その出力タイミングを設定します。

- ※この部分は製品取り付け時にインストーラーが設定していますので、弄らない事をお勧めします。接続機器が本来の動作を行えない場合があります。



Cameraを表示する時に電源を出力し、Cameraが起動します。Cameraを接続の場合です。



IG-ONで電源を出力します。レーダー探知機などに使用すると便利です。



車種がスリープから起きると電源を出力します。ドライブレコーダーなどに使用すると便利です。

各入力の画質調整について

各入力は、個別に画質調整が可能です。個々にご希望の画質に調整して下さい。

画質調整アイコンを選択しますとその入力映像を表示して、画面上部に調整項目が表示されます。

iDriveコントローラーを左右スライドして調整したい項目を選択して、ダイヤルを回して数値を変え調整します。戻るアイコンを選択決定でVEMメニューに戻ります。

映像出力設定

リヤモニター関連

当製品は接続したAV機器の映像以外に純正映像の出力も可能です。
フロントで外部AV映像を視聴中は同じソースがリヤモニターにも出力されます。
フロント側が純正MAPなどに切り替えても継続して外部映像は視聴できます。
リヤモニター出力を純正映像に切り替えるにはiDriveコントローラーの「MEDIA」ボタンを押して純正のAVソースの変更を行います。「MEDIA」ボタンを押さずに「MENU」ボタンなどから純正のAVソースを変更しても、リヤモニターは外部映像が表示されています。 ※車輛起動時は純正映像が出力されています。

※リヤモニター出力にはCamera 1 入力の映像は表示されません。AV入力、純正映像が表示されます。

純正映像出力設定

BMWの純正モニターは横長の為、映像をそのまま16:9モニターに映すと横の詰まった映像になります。その為当製品では、3種類の出力パターンを用意しています。



iDrive設定で2画面表示で使用する場合の左側画面部分のみをリヤモニターへ出力します。ユーザーが純正2画面で使用する場合の設定です。縦横比率はほぼ適正です。



iDriveを1画面で使用する場合は純正DTVや純正DVDは画面中央に表示され左右に黒帯が出ます。黒帯をカットしたCENTER部分が出力されます。縦横比率はほぼ適正です。



横に詰まったFULL映像を出力します。(画素数の関係で左右は若干カットされます)

純正映像切り替え呼び出しボタン設定

リヤモニターに入力される信号を純正映像に切り替える為には、iDriveコントローラーのMEDIAボタンを押して、そこから純正DVDや純正地デジを選択します。MEDIAボタンを押す事で純正映像を受ける事が出来ます。

MEDIAボタンを押さずにMENUボタンなどから純正DVDなどに切り替えても、リヤモニターは純正映像にはなりません。ご注意ください。

「MEDIA」ボタン以外にも、同様の操作をプログラマブルボタンにも登録出来ます。

呼び出し設定したボタンに純正DVDや純正DTVを登録すれば、ワンタッチでフロント/リヤが純正AVソースとなり便利に利用出来ます。

※複数登録出来るので、純正DVDと純正DTVを別けて登録も便利です。

※プログラマブルボタンにこの機能が不要無いのであれば、消去してください。
選択済みのアイコン上で再度決定動作で消去出来ます。

※当製品起動時には純正映像出力状態から始まります。しかし稀に初期読み込みに失敗して映像が出力出来ない場合があります。この場合は、再度「MEDIA」ボタンを押すなどの操作を行ってください。

リバースアクション設定

※この部分は製品取り付け時にインストーラーが設定していますので、弄らない事をお勧めします。
接続機器が本来の動作を行えない場合があります。

リバースアクション設定

外部映像視聴中などに、バックギヤに入れた時など画面を切り替える動作の設定です。



純正/バックアシスト装備付き車輛の場合の設定です。外部映像視聴中でも純正画面に戻りますので純正のバックカメラ映像が表示されます。カメラやPDCの表示を消す操作で元の画面に戻ります。

※リバースアクション中は画面下に黄色い文字で案内が表示されます。
※他のボタン操作などで画面を切り替えても黄色い文字が出ている間はリバースアクション中なので他の動作は出来ません。



純正/バックカメラ画面でのPDCイラスト部分にCamera 1映像を小窓表示します。※Camera 1未使用の場合選択出来ません。Camera 1入力にフロントカメラやサイドカメラを接続した場合の設定です。表示される車輛周辺の情報が増えるので便利です。カメラやPDCの表示を消す操作で元の画面に戻ります。

※リバースアクション中は画面下に黄色い文字で案内が表示されます。
※他のボタン操作などで画面を切り替えても黄色い文字が出ている間はリバースアクション中なので他の動作は出来ません。



外部映像視聴中にバックに入れても無反応です。バックアシスト装備無し車輛での設定です。



バックに入れるとCamera 1入力を呼び出します。社外バックカメラ取り付けの設定です。DIPスイッチの設定で自動でFULL/PbyPが決まります。PDC無し車輛はバックギヤから抜くと元の画面に戻ります。PDC付き車輛はPDC-OFFで元の画面に戻ります。

ガイドライン設定

Camera 1にバックカメラを接続した場合にバック中にガイドラインをどうするかの設定です。

※リバース時以外の任意呼び出しの際は表示しません。

※リバースアクション設定でCamera 1切り替えを選択時のみ機能します。



社外バックカメラ映像にガイドラインは表示しません。



リバース時の社外バックカメラの映像に固定タイプのガイドラインを表示します。



リバース時の社外バックカメラの映像にステアリング操舵角連動で動くガイドラインを表示します。



ガイドライン調整アイコンを選択するとバックカメラ映像を表示します。画面上部に調整項目が表示されます。iDriveコントローラーを左右スライド操作して項目選択します。タイヤル操作すると表示されているガイドライン位置が動きますので、ご希望の位置に合わせます。左右位置、上下位置、幅、角度が調整出来ます。

※ステアリング操舵角連動ガイドライン設定にしても調整画面では動きません。

また、予測ラインは単に目安としてお考えください。

※PbyP表示の場合は幅調整は出来ません。

その他設定

リモート信号の設定

※この部分は製品取り付け時にインストーラーが設定していますので、弄らない事をお勧めします。
接続機器が本来の動作を行えない場合があります。

このリモート信号が入力が有る場合、Camera入力が強制的に表示されます。
基本的にはユビテル製レーダー探知機Z700Nsdを装着するのに最適化しています。(疑似リバース信号を入力) Z700Nsdは映像出力中に疑似リバース信号を出力します。レーダー画面をカットインで使用するには、レーダーの待ち受け画面をOFFにします。
レーダーが反応した時にレーダー映像が強制割り込み致します。

リモート信号による強制呼び出し画面サイズも最後に表示していた画面サイズで表示されます。

※リモート信号入力中でもiDriveコントローラーMENUボタンを押して純正画面に戻した場合は、Camera入力映像も消えてしまいます。

再表示は、一旦リモートが切れてから再度入力されると表示します。また、Camera呼び出しボタン操作でも表示されます。

※リモート信号入力中に自らの操作で消した場合、画面右上に「Now,remote input」とOSD表示されます。
(レーダーが反応中なのが判ります。)

※Camera入力映像の表示サイズ切り替えは映像が表示されている状態でiDriveコントローラーのOPTIONボタンを2連打します。
操作する度に表示サイズが変わります。(タッチパッド1点タッチでも変更可能です。)

オペレートモード設定

当製品はAV1に地デジコントロール機能を搭載しています。地デジのリモコン信号の大部分をiDriveコントローラーで操作する事が可能です。(オーディオ部やステアリング部も可能)本来純正機能を操作するコントローラーなので、地デジ映像表示中での操作は純正が動かないようにしなければなりません…

スタンダードモードでは、地デジをFULL画面で表示中のみiDriveコントローラーでの操作が可能となっています。(裏で純正が動く事は有りません)しかし、画面上に純正映像が表示されている時には、その操作を優先しなければなりません。ですのでスタンダードモードでは、AV1をMAINサイズやSUBサイズで表示中はiDriveコントローラーで地デジ操作は出来ません。※オーディオ部やステアリング部でチャンネル変更などは可能です。対してエキスパートモードでは、AV1を表示中は、iDriveコントローラーを常に乗っ取っています。純正機能は動かないように対策しております。純正画面とAV1の2画面表示中はiDriveコントローラーを操作すると操作アクティブ側にアイコンが表示され確認出来ます。操作アクティブを切り替えるにはMAPボタンを2連打します。 純正側にアクティブアイコンが表示され純正操作状態となります。

このようにアクティブ切り替えを行う操作となります。

普段から地デジの番組表などの使用とか、積極的に様々な機能を利用するアクティブユーザーに適した操作方法です。

操作確認音設定

当製品の機能を操作する時に車輪スピーカーから「ブツ」とブザー音を鳴らす事が出来ます。

リバースアクション以外の時の画面呼び出し時もブザー音が鳴りますので、レーダー探知機をカットインで使用の際にも重宝します。

※デフォルト設定ではOFFとなっています。

2タイプメモリー設定

車輪は純正標準機能として、キー毎にiDriveの設定やA/C設定、シートポジションなど様々な設定が記憶され、起動時のキー信号でそれぞれの設定が呼び出されるようになっていきます。

当製品は、この機能にある程度ですが追従する設計となっています。車輛設定の個人設定1とそれ以外の設定とで2種類を識別します。

例えば個人設定1ではiDriveの使用方法が1画面で、個人設定2ではiDriveの使用方法が2画面だとします。1画面使用のユーザーが地デジなどを観る際はFULL画面で観るはずですが、2画面使用のユーザーはMAIN画面サイズで観ると思われれます。

当製品が起動時にどちらの設定かを判別しますので、キー毎の外部映像ラスト画面サイズを呼び出してくれるようになります。

旦那様と奥様がシェアリングしている場合などでiDriveの使用方法が違う場合などに便利な機能です。

個別に記憶される設定は、ラスト画面サイズ、呼び出しボタン、OSDマーク、画質設定、リヤモニター出力サイズ、ブザー音、ガイドライン設定などです。

※デフォルト設定ではOFFとなっています。

その他設定

純正セーフティ機能について

この機能は純正で装備されている走行中の純正AVソースの視聴やNAVIの詳細設定が出来なくなる制限を解除するものです。当然安全の為に装備されている機能なので、解除は自己責任で同乗者の為に行ってください。解除する事で走行中でも制限は入りません。リヤモニターを装着して走行中でも純正AVソースを視聴するには、解除が必要です。



純正状態です。走行中の視聴&操作に制限が入ります。



スピード信号を制御して走行中でも視聴&操作が可能となります。ナビのルート案内タイミングなどに多少ズレが発生します。



コーディングによる書き換えとの合わせ技で使用するモードです。
(現在の車輛システムではコーディングによる解除では63km/hまでの壁があります。60km/hでスピード信号を制御する事で、ルート案内タイミングなどの弊害も最小限にする事が出来ますが、コーディングによる解除が絶対必要になります。)

- ※この機能を有効にした場合には、純正オーディオの一部機能も停止します。詳しくは12ページ参照。
- ※この機能選択アイコンがトーンダウンで表示されている場合は、この機能は利用できません。

セーフティモードについて

この機能は当製品に入力したAV機器の走行中の制限を解除するものです。

こちらも解除は自己責任で同乗者の為に行ってください。

非解除状態では、停車中のみ視聴出来き、走行開始で画面のみ純正に戻ります。「走行中は視聴出来ません。」とOSD表示されます。

OSD表示中は停止すれば、また外部映像に切り替わります。走行中に他の操作などをしてOSDが消えた状態では、既に完全なる純正状態に戻る為停車しても純正のままです。

外部映像の表示方法

AVソースはVEMメニューで登録した呼び出しボタンを押す事で表示されます。ボタンを押す度に画面サイズが変わります。

呼び出しボタンは純正機能のプログラマブルボタンを使用しています。呼び出しボタンにフロントAUXの機能を登録しておけば、画面切り替え時に純正のオーディオソースも自動的にフロントAUXに切り替わりますので、ワンタッチで映像と音声切り替わるので便利です。

Camera入力も登録した呼び出しボタン操作で表示されます。画面サイズを変更するにはDriveOPTIONボタンを2連打します。

- ※AV映像とカメラ映像の同時表示は出来ません。AV映像+純正映像、カメラ映像+純正映像は可能です。

アルパイン製FカメラをCamera 1入力に接続した際の操作

VEMメニューで呼び出し設定した操作でCamera 1入力を呼び出します。FULL画面表示の時に限りますが、iDriveコントローラーを↑スライドする事で映像3/ボタン切り替え出来ます。

Camera 1映像が表示中にiDriveコントローラーのOPTIONボタン2連打で画面サイズが変わります。

また表示中にタッチパッドを1点タッチでも画面サイズ変更可能です。

リバース時純正カメラ映像のPDCイラスト部分に小窓表示設定している場合も、iDriveコントローラー↑スライドの操作で切り替え出来ます。

- ※AV入力の映像視聴中にCamera 1を呼び出した場合、AV入力はその時点でキャンセルされています。Camera 1映像からAV映像に戻す場合は直接AVソースの呼び出し操作を行ってください。

サイドカメラなどを変換ハーネスを使用してCamera 1入力に接続した際の操作

VEMメニューで呼び出し設定した操作でCamera 1入力を呼び出します。

Camera 1映像が表示中にiDriveコントローラーのOPTIONボタン2連打で画面サイズが変わります。

また表示中にタッチパッドを1点タッチでも画面サイズ変更可能です。

- ※AV入力の映像視聴中にCamera 1を呼び出した場合、AV入力はその時点でキャンセルされています。Camera 1映像からAV映像に戻す場合は直接AVソースの呼び出し操作を行ってください。

プログラムUPDATEについて

当製品は、安定性向上やバグ修正、新たな機能の追加など常に改良を行って行きます。
既に装着済みの当製品を最新プログラムにUPDATEするのに、車輦から取り外す必要はありません。設置時に装着されているUPDATE用USBケーブルをノートPCなどに接続してUPDATEが行えます。
最新プログラムなどは弊社HP上で公開しています。
UPDATEの手順などはHP上で詳しく解説していますのでそちらを参照してください。 UPDATEアイコンを選択決定しますと、画面が切り替わり、手順説明が表示されます。しかしHPの方が詳しく記載してあります。
この画面でUSBをPCと接続して再度UPDATEアイコンを押す事でUPDATEモードになり、操作権がPCに移ります。

メンテナンスモードについて

当製品が純正システムに介入したままですと、ディーラーでの車輦プログラミングにエラーが発生する可能性があります。その為、当製品の動作を停止する必要があります。
この操作はユーザー様が行うのではなく、メカニックの方がプログラミング前に操作するモードですのでユーザー様が操作する必要はありません。

メカニックの方へ

OBDIIコネクタにテスターを接続する際は、当製品をメンテナンスモードに入れてください。
iDriveコントローラーのMENUボタンを長押ししますと当製品のVEMメニューが表示されます。
TOPページにメンテナンスモードのアイコンがあります。
アイコンを押すとメンテナンスモードの説明画面に切り替わります。一読してください。
メンテナンスモードに突入しますと、当製品は動作を停止してバイパス状態となります。
(モニター信号、CAN信号がスルー出力になります。)
この状態で車輦プログラミングが行えます。

※既に動作停止していますのでMENUボタン長押ししても無反応で純正画面のままになりVEMメニューは呼び出せませんので確認できます。

メンテナンスモードの終了には2つの条件を満たす必要が有ります。

- ① 車輦が第1スリープに突入する。(車輦のCAN信号の停止)
- ② 運転席ドアの開閉信号の入力。

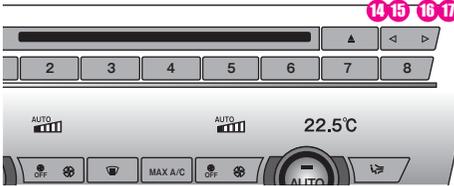
この2つの条件をクリアした後、当製品は通常動作に戻ります。

※車輦に不具合などが有り、問題箇所の切り分けの為、長期的な停止をさせ検証するには、当製品の6P電源/CANコネクタを抜きハーネスについている バイパスコネクタに差し替えておく必要があります。
CAN信号はこのカバーでバイパスされ、物理的に当製品を取り外したのと同様になります。
当製品が起動の為の電源を喪失していますので、映像信号もバイパス状態となっています。

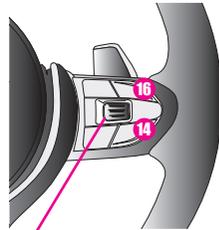
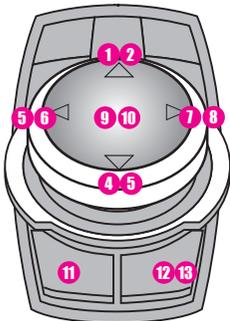
メンテナンスモードでは自動復帰させる為に、純正状態に戻しながらもCAN信号の監視のみ行っています。

地デジチューナーのコントロール(パイオニア/ユニデン)

地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。

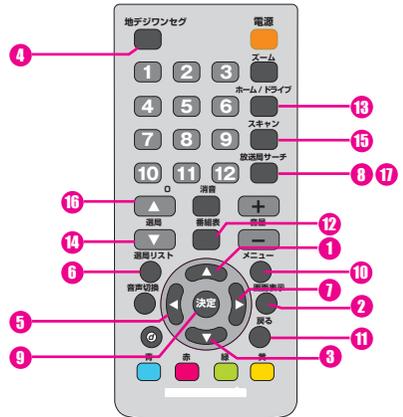


※G系車輻などでFM経由で音声再生している場合、使用不可(FM周波数が変わってしまいます。)



UP 選局 ↑ボタン信号
DOWN 選局 ↓ボタン信号

※タッチパネル搭載車輻は地デジ映像の上側/下側をタッチする事でチャンネル変更可能です。



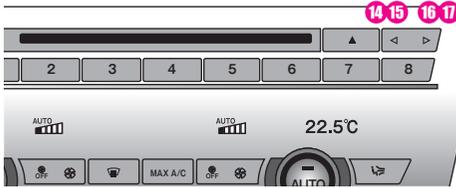
ダイヤル↑スライド	1	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	長スライド	画面表示ボタン信号
ダイヤル↓スライド	3	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	長スライド	地デジ→ワンセグボタン信号
ダイヤル←スライド	5	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	長スライド	選局リストボタン信号
ダイヤル→スライド	7	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	8	長スライド	放送局サーチボタン信号
ダイヤルプッシュ	9	短押し	リモコンの決定ボタン信号
ダイヤルプッシュ	10	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
BACKボタン	11	短押し	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12	短押し	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13	長押し	ホーム/ドライブボタン信号
オーディオ部←ボタン	14	短押し	選局↓ボタン信号
オーディオ部←ボタン	15	長押し	スキャンボタン信号
オーディオ部→ボタン	16	短押し	選局↑ボタン信号
オーディオ部→ボタン	17	長押し	放送局サーチボタン信号
ステアリング部↑ボタン	16	1クリック	選局↑ボタン信号
ステアリング部↓ボタン	14	1クリック	選局↓ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

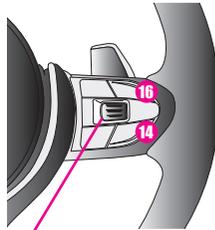
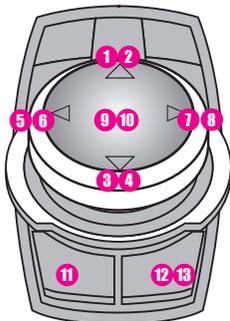
ステアリングスイッチ部で操作しますと、メーター内に純正操作内容が表示される仕様となっています。FULL液晶メーターパネル装備車輻は、タコメーター部に表示されますのでその間タコメーターが消えます。

地デジチューナーのコントロール(データシステム)

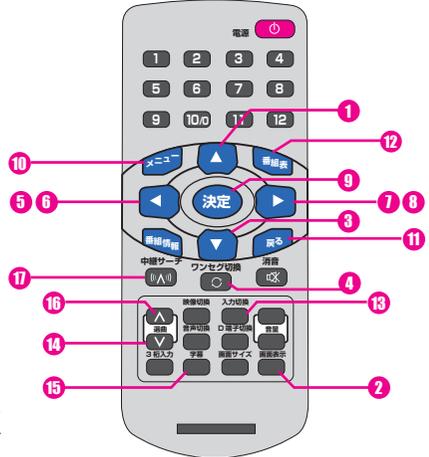
- 地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。



※G系車輻などでFM経由で音声再生している場合、使用不可(FM周波数が変わってしまいます。)



UP 選局 ↑ ボタン/信号
DOWN 選局 ↓ ボタン/信号



※タッチパネル搭載車輻は地デジ映像の上側/下側をタッチする事でチャンネル変更可能です。

ダイヤル↑スライド	①	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	②	長スライド	画面表示ボタン信号
ダイヤル↓スライド	③	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	④	長スライド	ワンセグ切換ボタン信号
ダイヤル←スライド	⑤	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	⑥	長スライド	リモコンの←ボタン長押し信号
ダイヤル→スライド	⑦	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	⑧	長スライド	リモコンの→ボタン長押し信号
ダイヤルプッシュ	⑨	短押し	リモコンの決定ボタン信号
ダイヤルプッシュ	⑩	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
BACKボタン	⑪	短押し	戻るボタン信号
OPTIONボタン	⑫	短押し	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	⑬	長押し	入力切換ボタン信号
オーディオ部←ボタン	⑭	短押し	選局 ↓ ボタン/信号
オーディオ部←ボタン	⑮	長押し	字幕ボタン信号
オーディオ部→ボタン	⑯	短押し	選局 ↑ ボタン/信号
オーディオ部→ボタン	⑰	長押し	中継局サーチボタン信号
ステアリング部↑ボタン	⑱	1クリック	選局 ↑ ボタン/信号
ステアリング部↓ボタン	⑲	1クリック	選局 ↓ ボタン/信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

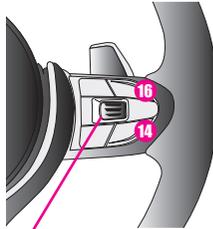
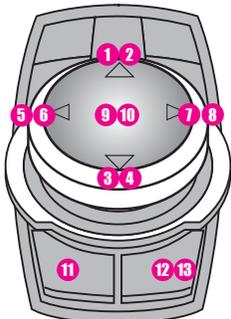
ステアリングスイッチ部で操作しますと、メーター内に純正操作内容が表示される仕様となっています。FULL液晶メーターパネル装備車輻は、タコメーター部に表示されますのでその間タコメーターが消えます。

地デジチューナーのコントロール(パナソニック)

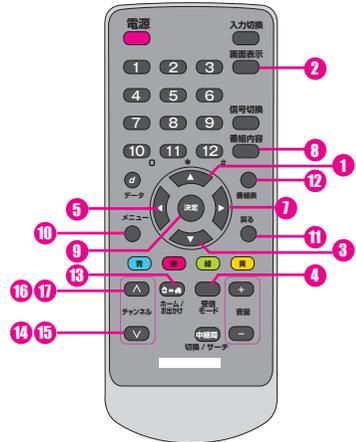
- 地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントロールラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。



※G系車輻などでFM経由で音声再生している場合、使用不可(FM周波数が変わってしまいます。)



UP 選局 ↑ ボタン信号
DOWN 選局 ↓ ボタン信号



※タッチパネル搭載車輻は地デジ映像の上側/下側をタッチする事でチャンネル変更可能です。

ダイヤル↑スライド	①	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	②	長スライド	画面表示ボタン信号
ダイヤル↓スライド	③	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	④	長スライド	受信モードボタン信号
ダイヤル←スライド	⑤	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	⑥	長スライド	
ダイヤル→スライド	⑦	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	⑧	長スライド	番組内容ボタン信号
ダイヤルプッシュ	⑨	短押し	リモコンの決定ボタン信号
ダイヤルプッシュ	⑩	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
BACKボタン	⑪	短押し	戻るボタン信号
OPTIONボタン	⑫	短押し	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	⑬	長押し	ホーム/お出かけボタン信号
オーディオ部←ボタン	⑭	短押し	チャンネル↓ボタン信号
オーディオ部←ボタン	⑮	長押し	上記ボタンの長押し信号
オーディオ部→ボタン	⑯	短押し	チャンネル↑ボタン信号
オーディオ部→ボタン	⑰	長押し	上記ボタンの長押し信号
ステアリング部↑ボタン	⑱	1クリック	選局↑ボタン信号
ステアリング部↓ボタン	⑲	1クリック	選局↓ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

ステアリングスイッチ部で操作しますと、メーター内に純正操作内容が表示される仕様となっています。FULL液晶メーターパネル装備車輻は、タコメーター部に表示されますのでその間タコメーターが消えます。

その他注意事項

当製品の各種設定は車輻メモリーに合わせ2種類を記憶します。※デフォルト設定ではこの機能はOFFとなっています。有効にするには6ページ参照。

iDrive設定の個人設定1=当製品のメモリー1

iDrive設定の個人設定2、3、ゲスト=当製品のメモリー2

※インストレーターが設置後、初回起動時に設定した状態を当製品はメモリー1とメモリー2に記憶します。その後、どちらかのキーで設定変更した場合、それぞれのメモリーが独立します。

基本的な設定関係はメモリー1、メモリー2は共有致しますが、呼び出しボタン設定、ラスト画面サイズ、画質調整、操作確認音、リヤモニター出力サイズなどは個別に記憶するようになります。

個人設定1のキーでは純正iDriveを1画面で使用、個人設定2のキーでは2画面で使用など、キー使用者毎にiDriveの使い方が違って、最適化した使用感を提供します。

何時もと違うキーの使用やiDrive設定で個人設定を切り替えた場合など、今までと設定が変わっていて戸惑う可能性がありますのでご注意ください。

稀に時々正常な動作が出来ない場合が発生する可能性があります。

現在の車輻は各電子モジュールが高度に制御されたバス信号で通信されています。稀に起きる不具合などで、再現方法が確定出来ない症状の場合は外来ノイズの影響を受けている場合があります。

(※違法無線搭載やEMC対策の不完全な電子機器搭載など、ノイズを発生している機器搭載車輻とのすれ違いなど。)

当製品は動作プログラム上で不具合を検知できた場合は自動的に再起動が掛かるように設計されています。

車輻純正のユニット類も稀に誤動作や再起動が起きる場合があるのと同じです。

パソコンやスマートフォンが時々フリーズしたりするのと同じように、現在の多機能な電子機器ではある程度避けられない現象です。ご了承下さい。

当製品が再起動するには

- 動作プログラム上で不具合を検知出来た場合(自動)
- iDriveコントローラーのBACKボタン5秒長押し(手動)
- 車輻イグニッションポジションを一旦ACC-OFFまでした場合(手動)
- 車輻スリープからのウェイクアップ時(手動)

当製品のキャンセラー機能をONで使用する場合の弊害について…

ナビの走行中の操作や純正DVDの走行中視聴を行う為には、純正のセーフティ機能を解除する必要があります。この方法として当製品が行っているのはマスクを掛ける為のスピード信号を誤魔化しています。このスピード信号を利用する純正オーディオ機能は全て影響を受けると言う事になります。

※疑似信号は純正オーディオ部のみに出力しています。

キャンセラーユニットタイプで純正セーフティ機能を制御するには、この方法以外には無いはずですが。

他社製キャンセラーでも詳細な告知は有りませんが同様な弊害は起きています。

現在確認されている弊害

- 高速走行での自動でオーディオボリュームが上がる「オートボリューム」機能が動作しません。
- ナビのルート案内中に別ルート検索などをして、到着時間や距離は最初にルート設定した時の数値のままです。

※この画面は本来は、停車中画面と走行中画面があります。操作可能なのは停車中画面のみです。キャンセラー機能ONの場合は走行中画面になる事は有りませんが画面更新がされません…ルートを外れるなどで再ルート検索が掛かる時には、そこから再度計算となる為に戻ります。

- ナビのルート案内中の案内音声タイミングに多少のズレが発生します。

ナビの自車位置精度はGPS、Gセンサー、スピード信号などの複数の信号で制御されているとみられますが、スピード信号の重要度は低い(もしくは無い)みたいで自車位置精度に影響は出ません。しかし、ナビ音声案内タイミングはMAP上の自車位置を元に案内音声のタイミングをスピード信号で見計らっているようです。この為、キャンセラー機能ONだとナビは低速走行中と誤認しているので本来のタイミングより少し遅れるのだと恐れます。MAPの自車位置が更新された時に遅れているのに気づいて案内されている感じの動作となります。iDrive5.0システムでは音声案内が細かく入る為、タイミングによっては交差点を曲がってから案内が入る場合もあります。ルート案内中に案内を重視する場合は、その時はキャンセラー機能を停止してご使用下さい。

Coding+のモードで使用する場合は60km/hまではスピード信号を弄らず、60km/h以上ではそれ以上の数値にならないように制御が入ります。純正セーフティ解除の方法の一つとしてコーディングによるプログラム書き換えの方法があります。しかしこの方法にも弱点があります。現在の所63km/h以上の速度で対応出来ません。

コーディングとCoding+のモードの合わせ技で、ある程度の不具合を回避する事が可能となります。60km/h以下の速度ではコーディング設定に任せています。コーディングでは弊害を出さずに制限解除出来ていますのでルート案内タイミングなどに弊害は有りません。

コーディングでは63km/h以上が対応出来ない為、当製品が60km/hでスピード信号を制御開始します。これでキャンセラー機能がそれ以上の速度でも継続されますが、ナビは60km/h以下と認識している為、高速道路などでの音声案内には多少ズレが発生します。しかし一般道の交差点などでの案内タイミングは純正を維持出来ます。

※Coding+モードはコーディングによるスピード解除が絶対条件です。単独では意味の無い制御となります。

故障かな?と思ったら

接続したAV機器を表示しても音声が出てこない。またはラジオなどの別ソースのまま…

- 外部映像呼び出しに設定したプログラマブルボタンに車輛のAUXが登録されていますか?
プログラマブルボタンの機能は純正の機能です。外部映像の呼び出しボタンにAUX呼び出し機能も登録する事で映像と音声を同時に切り替える事が出来るようになります。
プログラマブルボタンへの純正機能の登録は車輛の説明書をご覧ください。
- 弊社発売のDUAL AUXを使用していて、3.5φ部分に別のケーブルが刺さっていませんか?
DUAL AUXは2系統の音声入力を切り替えて使用する部品です。通常は裏で接続のRCA側が選択されていますが、3.5φ部に差し込む事でそちらが優先となります。

地デジの感度が良くない…

- 他の社外電装品は装着していませんか?
電源回路などの設計が不十分な製品が通電していると地デジの受信感度に影響が出る場合があります。
海外製のドライブレコーダーなどでは干渉する製品が多く存在します。
またUSB電源アダプターなども粗悪品が多くあります。
リヤモニターなども多少の感度低下を引き起こします。使用しない時は電源OFFなどをお勧めします。

ブルースクリーンになった…

- 入力機器の電源は入っていますか?
当製品は、外部映像を表示する操作を行って、映像信号入力が無い場合にブルースクリーンを表示する設計です。入力機器の映像信号をご確認下さい。

純正モニターがブラックアウトして「NO SIGNAL」と表示された…

- これは純正モニターが電源が入っているが、通信信号がエラーorロストの場合に純正モニターが表示します。
当製品の再起動動作を行ってみてください。
- 短時間の間「NO SIGNAL」が表示されその後復帰した場合は外的要因により通信信号にノイズが入り込んだ可能性が有ります。これは避けられない場合があります。
それでも改善しない場合、純正オーディオ側からの映像出力が停止している可能性が有ります。車輛を一旦第1スリーブに入れて下さい。(キーOFFで約1分放置)

※「NO SIGNAL」表示はしばらく出続けると消えてブラックアウト画面となります。
最初からブラックアウトとは症状が違うのでご注意ください。

純正モニターがブラックアウトしたまま…

- この時オーディオの音は鳴ってますか?オーディオも止まった場合、純正オーディオが機能停止状態になったと思われる。車輛を一旦第1スリーブに入れて下さい。第1スリーブに入れても直らない場合は、純正オーディオのオーバーヒートなどの保護動作の可能性が有ります。第2スリーブに入れてみてください。
オーディオは鳴っている場合は当製品の映像出力部ICにエラーが出た可能性が有ります。
当製品の再起動動作を行って下さい。

走行中iDriveがいきなりオープニングから始まった…

- 何らかのエラー蓄積でiDriveコンピューターが再起動を行ったと思われる。自己復帰動作ですので極稀に有ります。

故障かな?と思ったら

VEMが動作しなくなった…

- 外部映像呼び出しに設定したプログラマブルボタンに車輛のAUXが登録されていますか?
プログラマブルボタンの機能は純正の機能です。外部映像の呼び出しボタンにAUX呼び出し機能も登録する事で映像と音声を同時に切り替える事が出来るようになります。
プログラマブルボタンへの純正機能の登録は車輛の説明書をご覧ください。
- リバースアクション中では有りませんか?
純正バックカメラ付きなどで、カメラ映像中やPDC動作中などは当製品はリバースアクション中です。この状態の時は他の映像表示などは出来ません。
リバースアクションを終了してください。※リバースアクション中は画面下に黄色文字でOSD表示が出ます。

外部入力呼び出せなくなった…

- VEM設定は有ってますか?
当製品の各入力は呼び出しボタンが任意に設定出来ます。入力を「使用しない」を選択していた後に「使用する」に設定変更した場合は呼び出しボタンの登録も必須です。
VEMメニューなどが開くのに外部入力呼び出しが出来ないのであれば、設定ミスです。
- リバースアクション中では有りませんか?
純正バックカメラ付きなどで、カメラ映像中やPDC動作中などは当製品はリバースアクション中です。この状態の時は他の映像表示などは出来ません。リバースアクションを終了してください。
※リバースアクション中は画面下に黄色文字でOSD表示が出ます。
- メンテナンスモード中では有りませんか?
メンテナンスモード中は当製品は機能を停止します。なのでVEMメニューも開く事が出来ません。メンテナンスモードを解除するにはキーOFFで約1分放置して車輛が第1スリープに入るのを待ちます。(スターターS/WのLEDが消灯した5秒後)その後再起動させ、運転席ドアの開閉動作を行います。これで解除されます。

純正機能に動作不具合が有る…

- これは問題の切り分けが必要でです。
当製品を新車時に装着するケースが多いと思われませんが、不具合の発生元原因が当製品なのか、純正側のユニットなのかを判断する必要があります。 車輛に搭載の個々の電子モジュールと当製品のマッチング(相性)が悪くない場合にも起こりえる可能性も有ります。相性問題の場合は不具合の内容や発生状況にある程度の関連性が有ります。必ず発生する場合や頻度高く発生の場合はディーラーや取り付け業者にご相談下さい。極稀の場合は割り切りが必要です。
長期的に当製品をバイパスして機能しないようにして、不具合が改善するかなど問題箇所特定に時間の掛かる場合もあります。

極稀に不具合が発生する場合…

これは避けられないかも知れませんが…車輛の電子機器や当製品などは高度な電子技術の集合体です。外来ノイズなどが想定を超えた場合は不具合が出る可能性が有ります。

- 違法無線搭載のトラックなどが近くを通った場合や調子の悪い車輛の近くを通った場合など、ノイズ影響を受けます。(ラジオやTVの感度にも影響します。)

※ラジオや地デジの感度が悪い場所は単に電波状況が悪くだけで無く、その付近がノイズを出す工場などが有ったりする場合も有ります。そのような付近でも稀に不具合が発生したりします。

※その他、不具合っぽいかな?と思われる事などが有りましたら弊社へお問い合わせ下さい。
また、取り付けている製品のプログラムVerを確認してみてください。

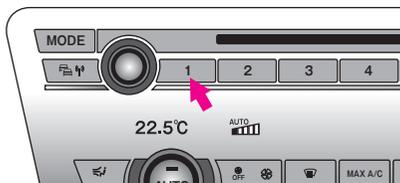
HPで公開のVerより古い場合はUPDATEで改善する可能性も有ります。(更新内容もHP記載します)

簡易操作マニュアル(呼び出しボタンがデフォルト状態での操作)

AV1を表示する。

オーディオ部分のプログラマブルボタン1を押します。

ボタンを押す度に画面サイズが
3パターン変わります。

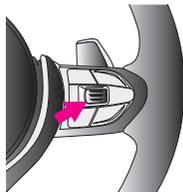


アフターマーケット製地デジチューナーのコントロール(チャンネル変更)はオーディオ部の←→スイッチ、ステアリングのJOGダイヤル回転で変更可能です。

※FM経由で音声を再生している場合、オーディオ部スイッチは使用出来ません。

※タッチパネル装備の車輛は地デジ映像の上部/下部をタッチする事でチャンネル変更可能です。(外部映像部分をタッチしても純正機能は動作しないように制御されています。)

※コントロール対応地デジチューナー取り付け時に限ります。



消す時はiDriveコントローラーのMENU、MEDIA、COM、MAP、NAVなどを押します。

Camera 1入力を表示する。

iDriveコントローラーのMENUボタンを2連打します。

Camera 1 映像が表示中にOPTIONボタンを2連打しますと画面サイズが3パターン変わります。
またタッチパッド部を1点タッチでも画面サイズ変更可能です。

アルパイン製のフロントカメラを接続している場合は、カメラ映像をFULL画面で表示している場合に限りiDriveコントローラー ↑ スライドで表示パターンが3パターン切り替え可能です。

